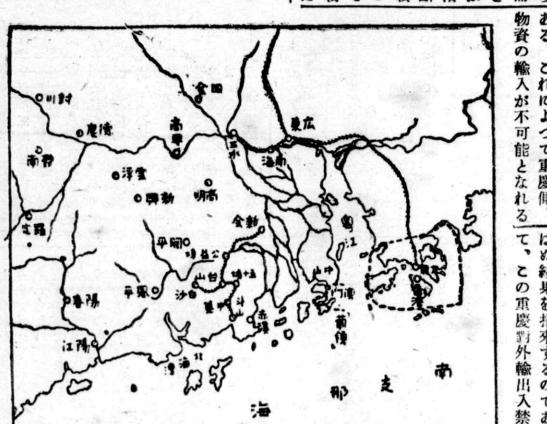


（廣東五日同報）南支軍報道部長談
る南支沿岸の各所に緊密なる聯繫を保つて、重慶側輸送策源の要衝を手中に收めたのであつて、眞に戰史に類例のない大規模かつ劃期的な會心の大作戦である。



（廣東五日同報）南支軍報道部長談
る南支沿岸の各所に緊密なる聯繫を保つて、重慶側輸送策源の要衝を手中に收めたのであつて、眞に戰史に類例のない大規模かつ劃期的な會心の大作戦である。

抗日蔣政權へ最後の止め

南支沿岸四百キロ！ 皇軍一齊に上陸敢行



伯國盛市マーストロ
カナル・シンドル
本紙定價半百二十
外國郵税共百廿ミル



このを止めの一撃として重慶の満く強く猛烈が零れて波高き
うけす、前記各據點への揚陸
のと信する、この日南東の風十一時廿分敵の大なる抵抗を後
の作戦に從事中なり

陸鷲群も相呼應

敵要衝に巨彈の雨

陸鷲群も相呼應

富井駐亞初代大使
北米經由赴任の途へ
きのふ龍田丸で横濱出帆



書は一日休暇を得て夫人、令子、出發に際しサントス・ヴィルス・ヴェルガラ大統領秘書官と同乗空路渡米の途につく

〔横濱六日同盟〕郵船龍丸は六日午後三時横濱出帆、初代アルゼンチン駐米大使として赴任するアルゼンチン公使館二等書記官三浦文夫、ホノルル總領事喜多長雄の諸氏ら内外船客四百十五名を乗せホノルルに向つた

夫人、令嬢同伴で 大統領秘書米國へ

政府所有建築の
鐵材收用令を公布

署名した
五日聯邦大統領は次の法令に
署名した
モン飛行場にはアンドラーデ
ケイロス臨時大統領秘書、
マルコンデス・フィーリョ
州行政院長、大統領官房より
ケイロス・リマ、デシオ・コ
リニア・ジエラード・マス
カレーニャの諸氏、アシニ
コルドベロ、グラサ・アラ
ニヤ、ロイド汽船社長代理、
ラウル・ボップ領事、ベザ
メロ・アス・アドレー・カ
ラズニ記者、カチ・オペラ
友名士多數の見送りを受けた

第一條 所有建築の鐵材は一
九三九年五月十八日法令一
二八四號により設立された
海軍機械委員會に引渡す
すべきことと
本條の義務は聯邦當局との
如何なる取扱し契約にも通
用される

第二條 本法は布告の日より
第一布告 三月十日より實施
第三布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

米の輸出許可制 さらに附隨品目發表

募 集
日本にて各種スパイ
ク・シユーズ製作經
験者
肝油ハリバ
よくきくのみよい

物油から精製した脂肪酸、
グリセリン、棕櫚油、棕櫚
油、椰子油、ココナッツ油、
レジン酸およびクレゾール
は可制限下における品目は左の
通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施、輸出許可制によるものと
しては技術上の参考文献

または技術上の参考文献

第三布告 四月廿四日より實
施、ジユード、鉛、硼砂、
御照會は

藤平運動具店

〔ワシントン四月同盟〕米政府は四月輸出許可制大統領令に附隨する三布告を發表したが、これにより新たに輸出許可制による品目は左の通りである

第一布告 三月十日より實施
第二布告 四月十五日より實
施

FORMIDAVEL AÇÃO BELICA JAPONESA NO SUL DA CHINA

400 quilometros de extensão — Golpe mortal para Chungking

Ótimo o moral das forças Imperiais

CANTON, 5 (D.) — Comunicado do chefe do Serviço de Informações das Forças Imperiais do Sul da China:

"As operações bélicas agora efetuadas pelas nossas forças abarcam 400 quilômetros de extensão, nas costas do Sul da China. Realizamos desbarques de surpresa em vários pontos, em perfeita combinação, ocupando os pontos estratégicos de fornecimento de material ao governo de Chungking. Foi uma ação bélica realmente formidável, de proporções gigantescas. O governo de Chungking não poderá continuar a luta de re-

sistência sem a chegada de material bélico e outras matérias do estrangeiro. Por isso abandonou até a sua política de repulsão à moeda nipônica, chegando a decretar uma lei para obter, por todos os meios, a moeda japonesa. Isto prova como Chungking está sofrendo por falta de recursos. Desde a interrupção da rota da Indo-China restava-lhe a estrada de Burma, que também se tornou intransitável pelo nosso bombardeio aéreo. A estrada de Koshi, a última veia por onde Chungking recebia transmissão de sangue, foi também cortada pelas nossas forças. Mesmo

Acresce que perdeu grande quantidade de armas e munições. As forças de Chang-Kai-Chek encontram-se em situação desesperadora. Não obstante o bloqueio pela nossa marinha das costas chinesas, e a interrupção de transporte, pelo nosso exército e aviação, Chang-Kai-Chek estava procurando abrir nova rota para remessa oculta de material a Chungking. A ação das nossas forças é excelente. As nossas forças, ocupando as bases da remessa de material e outros pontos estratégicos, completarão o bloqueio, impossibilitando o transporte de qualquer sucesso".

Operações militares de grande vulto numa zona de 400 quilometros

Desde Hong-Kong a Indo-China — 70 mil japonês em Hainan

SHANGHAI, 5 (U. P.) — Infor- fronteira da Indo-China. Os ja- mações de procedência nipônica penetram imediatamente nas cidades de Kwenghoi, Yeungkong, traram um importante exército no Golfo de Tonkin, e segundo informa a emissora de Chungking, es- tão estabelecendo aeródromos e bases navais em várias ilhas, como preliminares para a sua próxima investida rumo ao sul do Pacífico.

Segundo as informações em questão, os japoneses levaram a efeito um desembarque de surpresa, numa zona de 400 quilómetros, entre a desembocadura do rio Pearl, diante de Hong-Kong e a

base naval de Madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

O objetivo desse desembarque, a pouca distância da fronteira indo-chinesa é, ao que parece, apoiar pelas armas o "ultimo" dirigido ao governo de Vichy, para que aceite os termos de paz sugeridos pelo Japão.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para

submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para

submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para

submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para

submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para

submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para

submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

As operações de desembarque nipo-ripias tiveram inicio às primeiras horas da madrugada de ontem,

ficando assim interditadas uma das últimas rotas terrestres de que ainda dispunham os chineses para o seu realabastecimento direto.

As forças expedicionárias japo-nesas estabeleceram o seu quartel-general em Pakhoi, ou seja, a 260 quilómetros de Haipong, que é o principal porto do norte da Indo-China.

O correspondente da Agência "Domei" em Cântao qualifica o desembarque em questão como "uma das maiores operações registradas nos anais de guerra de todos os tempos", acrescentando que com

essa ação foi completado o cerco ao governo de Chungking.

A rádio-emissora de Chungking estima em cerca de 70 mil homens as forças japonesas concentradas em Hainan, conjuntamente com uma grande força naval.

As autoridades japonesas já estariam preparando uma base para

submarinos no porto de Yulin.

A mesma emissora afirma que os

japoneses, procuram converter as

Ilhas Spratley, Paracel e Vaichow

em outras tantas bases aéreas e

navais, para a sua futura investida

rumo ao sul do Pacífico.

Assembléa anual da Camara Comercial Britanica

Realisada em São Paulo Declarações do consul Arthur Abbott

RIO, 5 — Viajando pelo noturno de luxo da Central do Brasil, regressou hoje ao Rio o sr. Arthur Abbott, addido de imprensa junto à Embaixada da Inglaterra, no Brasil e antigo consul britânico em São Paulo.

O sr. Abbott, que é figura de relevo na imprensa e na sociedade carioca, posição que conquistou pela sua alta distinção e marcada inteligência, foi recebido, na estação de Alfredo Maia, por elevado numero de amigos, admiradores e compatriotas domiciliados nesta capital. S. s., que foi a São Paulo assistir aos trabalhos da Assembléa Anual da Camara de Comércio Britânica, falou a um representante da imprensa sobre a impressão que trazia da capital bandeirante.

— A Camara de Comércio Britânica impressionou-me favoravelmente, com o sensível e crescente aumento do numero de seus socios, todos empenhados em conseguir maior e mais estreita aproximação entre os dois países; esforço esse que já se reflete na intensificação das trocas comerciais. Esse trabalho construtivo se processa normalmente e consolida a velha amizade que une o Brasil e a Inglaterra.

Acerca da intensificação do nosso comércio com as Ilhas Britânicas, a cujo propósito, se estava fazendo, ultimamente, uma grande publicidade declarou o seguinte:

— A despeito das dificuldades atuais, o movimento de exportação e importação continua assunindo cada vez maior vulto. Tu-

do, indica que as trocas económicas entre o Brasil e a Inglaterra crescerão ainda mais. As possibilidades comerciais brasileiras são muito grandes e o aproveitamento está sendo feito num ritmo auspicioso. A Inglaterra também continua a produzir e seus navios não deixam de sulcar os cinco mares, no cumprimento de compromissos com os importadores.

Então, são muito boas as perspectivas dos negócios entre as Ilhas Britânicas e o Brasil? inquiriu o jornalista.

— Sim, respondeu o consul Abbott, despedindo-se. Os laços de amizade que elgam o Império Inglês ao grande país sul-americano são o mais eloquente veículo para o desenvolvimento do comércio entre as duas nações.

Na baixada fluminense Auspicioso progresso da pequena lavoura

RIO, 1 — É verdadeiramente auspicioso o progresso da pequena lavoura na Baixada Fluminense, que, assim, se vai transformando no celeiro abastecedor da Capital Federal.

Esse desenvolvimento é devido não só às grandes obras de saneamento já realizadas, como também à colonização metodizada, estabelecida por intermédio da organização de Núcleos Coloniais.

Ainda agora, novo sucesso acaba de ser levado ao conhecimento do ministro Fernando Costa pelo sr. José de Oliveira Marques, diretor da Divisão de Terras e Colonização. Trata-se do exuto obtido pelo colono n. 268, do Núcleo de Santa Cruz, o qual colheu 1 hectare, com tomates das variedades Paulista e Japonês, mil caixas, no valor de 25 contos. O cativeiro foi feito pessoalmente pelo produtor, auxiliado por três

filhos e esposa. Esse agricultor já possuiu no local 20 mil pés de tomates, tendo semeado mais 500 gramas de sementes. Gastou 4 mil kilos de adubos, no valor de 5.75\$000 e 1.300\$000 no transporte para o Rio.

Tendo colhido mil caixas, apurou 25 contos, a 25\$000 a caixa, dos quais pagou as despesas de 6.875\$000 e ainda obteve um lucro de 18.125\$000.

Deve ser entregue á comissão do ministerio da marinha o material metalico pertencente á União

RIO, 5 — O Presidente da República assinou o seguinte decreto-lei:

"Art. 1." — O material metálico resultante da demolição de predios pertencentes à União, será entregue à Comissão de Metalurgia do Ministério da Marinha, criada pelo decreto-lei n.º 1.284, de 18 de maio de 1939.

Demitiu-se o almirante Graça Aranha, Presidente do Lloyd

RIO, 4 — Noticia-se que o almirante Graça Aranha não mais voltará à presidência da nossa principal empresa de navegação. A sua atitude é ainda o resultado do fato amplamente noticiado, de que o Conselho de Administração do Lloyd resolvera que os reparos a serem feitos no "Almirante Jaceguai" fossem realizados nas oficinas de Mocanguê, contra a vontade do almirante Graça Aranha, que mandara o navio para o estaleiro Guanabara.

Recorrendo dessa decisão para o ministro da Viação, o presidente do "Lloyd" viu confirmada a deliberação do Conselho.

Ontem, após ordenar o cumprimento da resolução ministerial, o sr. Graça Aranha deixou o cargo que vinha ocupando há cinco anos, entregando a direção da empresa ao sr. Enrico Aché.

O almirante Graça Aranha deverá completar a idade limite no dia 28 do corrente mês.

Modificação na constituição argentina?

Está no Rio o diretor do Departamento de Imprensa e Propaganda de São Paulo

BUENOS AIRES, 6 (T. O.)

Ontem à noite, acreditava-se os círculos políticos desta capital que a comissão nomeada pelo Senado aventureira proposta de modificar a constituição nacional argentina, visando, destarte, solucionar a crise surgida em consequência da enfermidade que tem impossibilitado o presidente da Republica, dr. Roberto Ortiz de exercer normalmente as funções inherentes ao seu cargo.

Convidado para fazer parte da

RIO, 5 — O dr. Cassiano Ricardo, diretor do Departamento de Imprensa e Propaganda desse Estado, chegou, hoje, ao Rio, afim de tratar de assuntos concernentes ao novo organo do governo bandeirante.

O ilustre viajante que teve desembarque muito concorrido, deverá avistar-se ainda hoje com o sr. Louival Fontes, diretor geral do Departamento Nacional de Imprensa e Propaganda.

Chegada do prof. George Harcavi ao Rio Estudo científico dos transportes - Proximas conferencias

Impressões sobre as estradas paulistas

RIO, 5 — O professor George Harcavi, do Instituto científico de Estudos de Comunicações e Transportes de Paris, que aqui se encontra, ouviu hoje, declarar que como representante do referido instituto veio ao Brasil a convite do governo federal para realizar uma série de conferencias científicas sobre assuntos de sua especialidade e establecer as bases para a criação eventual no Brasil de um organismo científico cuja finalidade seria a pesquisa e o estudo dos transportes do ponto de vista técnico, economico, jurídico e sociológico.

Informou que essa organização é a primeira no gênero na América Latina e facilitará os notáveis trabalhos empreendidos no Brasil pelas administrações públicas e particulares no setor das vias ferreas e demais meios de transporte como também concorrerá para uma maior projeção científica e técnica

comercial ferroviário que reputo o mais perfeito do mundo, possuindo um rendimento tal que só pode ser atribuído como resultado da pesquisa científica dirigida. É o Departamento Comercial da Estrada de Ferro do Brasil. Em S. Paulo encontrei, na E. F. Sorocabana e em outras estradas, espíritos esclarecidos abertos, comprendendo com grande vivacidade a necessidade da pesquisa e experimentação científicas. O esforço de racionalização iniciado pela Mogiana conta-se entre os melhores que

obtidos por essa estrada na compreensão de despesas são de fato notáveis. É digna de admiração a via permanente da Cia. Paulista de Estradas de Ferro.

Na Estrada de Ferro Leopoldina o que me impressionou foi a elasticidade de seu esforço de propaganda comercial. A Contadoria Geral de Transportes aqui no Rio é um orgão muito bem constituído que vem produzindo um rendimento simples e rápido."

TELEGRAMAS DO EXTERIOR

"A Alemanha não está ameaçada no sudeste"

MOSCOW, 4 (U. P.) — Os artigos da imprensa soviética, sobre a entrada de tropas alemãs na Bulgária, estão redigidos nos termos mais violentos contra a atitude e a política do Reich, desde o início da campanha anti-germânica, antes de ser assassinado o pacto de não-agressão entre ambos os países, a 23 de agosto de 1939.

Um comentarista diz o seguinte: "A Alemanha não está ameaçada, ali, por uma atuação aliada, como ocorria no caso da Noruega e Dinamarca".

Os jornais reproduzem o comunicado oficial, em que se anuncia a

desaprovação do governo, em face da atitude da Alemanha.

Os observadores políticos não se mostram surpreendidos por quanto a Turquia nada mais faz do que reiterar sua política contrária à extensão das hostilidades nos Balcanes. O comunicado oficial revela que a Rússia previu a Bulgária no sentido de sua atitude não estava encaminhada a manter a paz, mas sim fomentar a ampliação das hostilidades. Acrescenta o comunicado que, em vista disso, a Bulgária não pode contar, agora, com o apoio russo em favor de sua política.

VICHY, 5 (D.) — Segundo informações procedentes de Belgrado, o sr. Eden, ministro do Exterior da Inglaterra, na sua conferência de Ankara, teria discutido a possibilidade de ocupar a Síria conforme o desenvolvimento da situação dos Balcanes. A agência "Stefani", por sua vez, noticia que a Inglaterra está planejando a formação de uma vasta aliança árabe, que incluiria o Iraque e Afeganistão e teria como centro a Turquia, tendo já

feito a necessária proposta. O governo de Vichy, entretanto, declarou o seguinte, desmentindo tais notícias, como simples boatos:

"A França não reconhece, no momento, a necessidade de tomar medidas de emergência na Síria, nem nunca tomou tais medidas. Com tudo a França está preparada para defender seu império, como o fez no caso do ataque a Dakar".

A FRANÇA DESMENTE

Fraternidade espiritual entre o Reich e a Bulgária

Em vias de solução a greve dos operários da Carolina do Norte

Ameaça de greve nas fábricas de Ford

NEW YORK, 5 (S.) — A greve de operários da Carolina do Norte está em vias de solução. Cerca de 3.000 operários, ou seja a quinta parte dos grevistas, conseguiram atravessar o anel de vigília, estabelecido por estes. Informa-se por outro lado que o conflito entre a Ford e a União dos Trabalhadores prossegue, sendo que esta anunciou poder pôr 100.000 operários em greve. As reuniões dos comites de conciliação, não atingiram nenhum resultado prático, porque a Ford tendo tomado encomendas militares no valor de 3 bilhões, seu trabalho é de interesse público. A União sindical ameaçou irromper a greve, avisando com o prazo de 30 dias.

De acordo Tai e França sobre os principais pontos de mediação japonesa

Comunicado conjunto

TOKYO, 6 (D.) — Comunicado conjunto do Japão, França e Tai, sobre as negociações de mediação do conflito da fronteira entre Tai e Indo-China:

"Chegaram a um acordo, os governos do Tai e da França, sobre os pontos principais da proposta japonesa de mediação no conflito de fronteira entre Indo-China e Tai.

Dentro de três dias serão realizados os primeiros encontros".

REFORMA DA LEGISLAÇÃO MILITAR

A possibilidade de promoção de dois graus ao mesmo tempo

TOKYO, 5 (D.) — Levando em consideração a marcha da situação internacional, o ministério da Guerra vai reformar o estatuto dos militares. Conjuntamente sera promulgada uma lei que regulará a posição social dos oficiais. Será também reformada a lei das promoções no Exército. Essas leis serão publicadas em breve no Diário Oficial, devendo entrar em vigor imediatamente. Essas leis foram feitas no inicio da era do Imperador Taisho (1912), tendo vigorado até hoje. Agora, devido à nova situação do mundo e pela modificação introduzida nas leis que regulam matérias congêneres, tornou-se necessária uma reforma geral dessas leis. Essas novas leis pretendem facilitar o movimento dos militares de acordo com a mobilização diplomática. Segundo a nova de promoções, a criterio dos superiores, os militares exemplares ou os que demonstrarem grande heroízide perante os inimigos poderão ser promovidos em dois graus hierárquicos de uma só vez.

Também na lei que regula a posição social dos oficiais foram introduzidas varias reformas, sendo essa atual serie de reformas, considerada como a maior regular matérias

de todos os tempos.

WASHINGTON, 4 (D.) — Interpretar a atitude do governo como tendente a reforçar a corrente de opiniões que sustenta o envio das nossas forças armadas a Singapura. Já uma parte delas está recebendo instruções militares com o objetivo da defesa de Singapura.

Só posso interpretar que o secretário de Estado, Hull, pretende considerar o projeto isolacionista sobre a suspensão da remessa da quadra para fóra do hemisfério ocidental. Não posso deixar de dizer que o projeto isolacionista é prejudicial à política extremo-oriental da Secretaria de Estado".

BERLIM, 5 (U. P.) — Em esferas alemãs geralmente bem informadas são qualificados de absurdos os rumores, segundo os quais os diplomatas alemães receberam instruções no sentido de estarem preparados para abandonar os Estados Unidos dentro de tres dias.

CONCEDIDO UM CREDITO A FINLANDIA PARA AQUISIÇÃO DE TRIGO NA ARGENTINA

RETIRADA DOS DIPLOMATICOS ALEMÃES DOS EU.U.S.

BUENOS AIRES, 6 (T. O.) — Logo que chegou a esta capital, o ministro plenipotenciário argentino em Helsinki, dr. Adolfo Calvo, propôz a concessão de um crédito à Finlândia para a compra de trigo. O projeto foi aceito imediatamente, visto que não cabe dúvida alguma sobre a concessão do respectivo "navycerts".

De acordo com o comunicado conjunto do Japão, França e Tai, sobre as negociações de mediação do conflito da fronteira entre Tai e Indo-China:

"Chegaram a um acordo, os governos do Tai e da França, sobre os pontos principais da proposta japonesa de mediação no conflito de fronteira entre Indo-China e Tai.

Dentro de três dias serão realizados os primeiros encontros".

Multa de 1.200 Contos

Valiosa doação da colônia japonesa de Bastos ao Governo do Estado

A oferta foi feita por intermédio da Sociedade Colonizadora do Brasil Limitada

Fomos informados de que a colônia japonesa de Bastos, prospera localidade no município de Tupan, comarca de Pompeia, por intermédio da Sociedade Colonizadora do Brasil Limitada, ofereceu, ao governo do Estado, por doação gratuita e incondicional, além de um ótimo campo de aviação, um prédio de amplas proporções, e respectivo mobiliário, especialmente construído e aparelhado para no mesmo funcionar um ginásio.

Além dessas valiosas ofertas, ainda se propôz a colônia a concor-

rer, no primeiro e segundo anos, com setenta e cinco e cincuenta contos de réis, respectivamente, para a manutenção dessa casa de ensino secundário, que vem sendo insistentemente reclamada pela numerosa juventude ali existente, já com o preparo necessário ao acesso a esse curso.

Conhecido como é o efeito nacionalizado das diuturnas preleções sobre história patria, com o culto aos seus símbolos — a bandeira e o hino — com o relato dos

notáveis feitos dos seus grandes vultos, e outros patrióticos ensinamentos que a instrução proporciona, é de encarecermos sobremodo essa alta contribuição proposta pela inteligente e prospera colônia,

com o que manifesta significantemente o seu desejo de concorrer para a integração, na comunidade brasileira, de toda essa densa população estrangeira que ali vive, fazendo-a sentir, vibrar conosco, pelo nosso ideal patrio.

(Correio Paulistano)

Podem viajar para o exterior

Os menores, filhos de estrangeiros, contanto que haja motivos justos

Devido a má interpretação dada por alguns à alteração do decreto-lei sobre a nacionalização de filhos de estrangeiros, muitos pensavam que não fosse mais possível, de modo algum, fazer viagem ao estrangeiro, em se tratando de menores de 18 anos, filhos de estrangeiros. Japoneses que estavam preparados para viajar com seus filhos ficaram desorientados. Entretanto, o que houve foi o seguinte. À alteração do decreto-lei em questão, os menores de 18 anos, nascidos no Brasil, filhos de

estrangeiros, podiam viajar livremente para o estrangeiro, contanto que estivessem acompanhados pelos pais ou protetores. Pela alteração introduzida, apenas tornou-se obrigatória a autorização do Conselho de Imigração e Colonização. A lei, portanto, permite a viagem ao estrangeiro, dos menores de 18 anos, contanto que haja motivos justos. O Conselho, nesse caso, concederá autorização para que brasileiros, filhos de estrangeiros, menores de 18 anos, viajem para o estrangeiro.

Com atraço o "Buenos Aires Maru"

Chegará em Santos no dia 13 — Regresso de atletas da colônia

OS QUE PERMANECEM NO JAPÃO

A maioria das pessoas da colônia que foram ao Japão, afim de assistir os festeiros comemorativos do 2.600º aniversário da fundação do Império, regressa ao Brasil no próximo dia 13, pelo "Buenos Aires Maru". Permanecem ainda no Japão, as seguintes pessoas:

Susumu Tomioka, Katarō Sasaki, Sakichi Tamaki, Kamemichi Yanagisawa, Chujiro Otake, Nobu Anze, Luisa Anze e Shizu Takeuchi.

A "Vasp" vai adquirir novos e poderosos aviões para a linha São Paulo-Rio

A frota de aviões da "Vasp" dentro em poucos dias serão incorporados dois modernos aparelhos "Lockheed Lodestar", que virão aumentar extraordinariamente a importância de sua linha principal, a São Paulo-Rio.

Anúncios eficientes?

Só no "BRASIL ASAHI", jornal de maior circulação da Colônia Nipônica

Tel. 7-3326

Em virtude da atual situação na Europa, não foi possível à Vasp adquirir os aviões "Junkers Ju-52", de fabricação alemã, como o vinha fazendo desde sua fundação. Entretanto, lançando mão dos aparelhos produzidos nos Estados Unidos, a viagem entre

A S.P.R. intimada a pagar aquela importância á Faz. Estadoal

Ha tempos, a Fazenda do Estado de São Paulo, julgando-se credora da "S. Paulo Railways", propôs, no Juizo da Fazenda Estadual, uma ação executiva contra a referida companhia, para haver em pagamento a quantia de 1.258.118.000 proveniente do imposto de indústria e profissões, referente a anúncios explorados no 4º trimestre de 1937 e exercício inteiro de 1938, na estação da Luz.

O juiz, feitas as citações e não pagada a quantia, mandou expedir mandado de penhora que foi cumprido, em bens oferecidos pela executada, que se compunham de vários predios no centro da cidade.

Feito isso, a ré entrou com embargos à penhora, alegando uma série de fundamentos, para que fosse provada a nulidade da decisão.

Houve embargos, que foram rejeitados, ficando de pé o acordo.

Por sua vez, a Fazenda do Es-

COBRAS BRANCAS
Um dos Tesouros Nacionais do Japão

Shinkyo Yoshino

As cobras brancas antes já eram admiradas e consideradas como sagradas, enquanto que as cobras comuns, venenosas ou não, eram detestadas e temidas como ainda o são hoje em dia. Esta crença tradicional fez o povo antigo adorar a cobra albina como a Deusa da Boa Fortuna; muitos fizeram peregrinações a santuários ou templos onde tais cobras viviam, rogando por sua felicidade e boa sorte, e, uma residência que afortunadamente tivesse uma cobra branca em seu jardim era considerada de sorte.

As cobras da variedade albina são delicadas por natureza e não fazem mal às pessoas. Seus corpos de branco puro e os olhos de suave vermelho esmagado não nos dão uma impressão de perigo, mas nos causam o mesmo sentimento de horror que as outras cobras. Provavelmente foi por causa dessas características que os antigos vieram a ter sentimentos amistosos para com elas e, finalmente, adorá-las como de bom preságio.

Nestas condições, desde os dias primitivos, os animais brancos sempre despertaram a curiosidade do povo, e os veados brancos assim como os faisões brancos eram considerados portadores de boa sorte. Esta primitiva curiosidade pode ser encontrada também na história de muitas nações ocidentais. Mas não data de há muito que as cobras albinas foram tornadas objetos de exposição pública ou vendidas a preços fabulosos como Deusa da Boa Fortuna.

Atualmente, ha milhares de cobras brancas preservadas e protegidas num distrito ao longo do rio Iwakuni, na prefeitura de Yamaguchi, é também conhecido por causa de suas garças brancas. As garças brancas aparecem no território mais ou menos ao mesmo tempo que quando as cobras brancas são vistas mais ativas exteriormente. Elas principiam a chegar no fim da primavera e do meio de Junho a Agosto, podem se ver milhares e milhares de garças brancas no distrito.

De Tokyo

7-III-1941

Em Maio do ano passado, foi inaugurado, em Tokyo, o mais e melhor equipado Instituto da Saúde Pública de todo o Extremo Oriente.

Construído com fundos doados pela Fundação Rockefeller, o mais novo centro de saúde do Japão — sob o controle do ministério do Bem-Estar — tem por finalidades o exercitar homens e mulheres para o serviço da saúde pública e a manutenção de pesquisas de métodos para promover a saúde nacional.

Entre os problemas mais importantes de hoje, nêles estudados, acham-se os referentes ao desenvolvimento da força física da nação, os fatores naturais que afetam as populações, as condições de higiene e de vida durante o conflito sino-japonês, e os problemas sanitários que voltam os projetos de colonizações.

O Instituto está localizado nas proximidades do Parque Shiba, no centro de Tokyo. A sua construção, de estilo gótico, requereu dois anos e mais de 3 milhões e 500 mil yens (o yen a 5 mil réis, mais de 17 mil e 500 contos de réis).

Quanto à aparelhagem, é sem par tanto no Oriente Próximo como no Leste.

衰弱と頭痛には
カファスピリーナ



CAFASPIRINA

苦痛を軽減し元氣を回復す



Crescente entusiasmo pelo Base-ball no interior

O BASTOS CONTINUA INVENCIVEL

Vitoria sobre Bunka, Paraguassú e Ourinhos

Realizou-se no novo campo de base-ball de Paraguassú os embates entre a equipe local e a de Ourinhos; entre Bastos e Bunka, e Bunka e Ourinhos. Os resultados desses jogos, que foram muito movimentados, foram os seguintes: Paraguassú 14 x Ourinhos 1; Bastos 13 x Bunka 0; Bastos 13 x Paraguassú 0; Bunka 13 x Ourinhos 0.

Tietê X Aliança
Vitória do primeiro sobre o segundo por 11 x 2

No "ground" da fazenda Aliança, realizou-se um jogo de base-ball entre o Tietê e o "team" local. A vitória coube aos visitantes, pela contagem final de 11 x 2.

Vitória do Alvares Machado

A 22 do mês findo, em Alvares Machado deu-se o encontro basebolístico entre Pres. Prudente e Alvares Machado. Após uma luta renhida e interessante o Presidente Prudente derrotou o Alvares Machado por 8A x 7.

Reunião de capitães dos "teams" de Baseball da Sorocabana

Realizou-se em meados deste mês em Ourinhos, a reunião de diretores e capitães dos "teams" de base-ball da Sorocabana para tratar do Campeonato Sorocabanense de Base-ball do corrente ano. Será discutida também a questão da fusão com a Alta Sorocabana.

Os dez melhores resultados em salto triplo e salto com vara (1940)

	Salto triplo
1) Kin (Japão):	4 ms. 31
2) Omuro (Japão):	15 ms. 68.
3) Miller (Australia):	15 ms. 56.
4) Harada (Japão):	15 ms. 53.
5) Brown (EE. UU.):	15 ms. 52.
6) Rayasari (Finlândia):	15 ms. 30.
7) Janson (Suécia):	15 ms. 22.
8) Berglén (Suécia):	15 ms. 11.
9) Russi (India):	15 ms. 10.
10) Saito (Japão):	15 ms. 04.

	Salto com vara
1) Warmerdum (EE. UU.):	4 ms. 60
2) Meadows (EE. UU.):	4 ms. 47.
Smith (EE. UU.):	4 ms. 47
Dayls (EE. UU.):	4 ms. 47
5) Gunthlen (EE. UU.):	4 ms. 37
6) Ross (EE. UU.):	4 ms. 32
7) Dacon (EE. UU.):	4 ms. 03.

Seleção dos representantes brasileiros para o Sul Americano de atletismo — Organizado o programa

A diretoria da Federação Paulista de Atletismo de acordo com o Conselho Brasileiro de Atletismo, deliberou marcar as seguintes datas para seleção e escalação dos elementos que representarão o Brasil no próximo Campeonato Sul Americano, marcado para 26 de abril em Buenos Aires.

8 de Março — Eliminatória Final do Decatlo no campo do Tietê-São Paulo.

Dias 15 e 16 de Março — Competição com as provas em geral do Campeonato Sul Americano, para escalação definitiva da equipe.

MEDALHAS AOS VENCEDORES

Para as provas finais a F. P. A., em colaboração com a Diretoria de Esportes, oferecerá medalhas de prata ao 1.º colocado em cada prova e medalhas de bronze aos 2.ºs.

Elaborado o calendário pugilístico do ano

Em sua última reunião de diretoria a Federação Paulista de Pugilismo elaborou o seguinte calendário para o corrente ano:

23 e 30 de março — Torneio de classificação geral dos pugilistas para a competição das séries (1.ª — 2.ª — 3.ª).

20 e 27 de abril — Campeonato das séries.

4, 11, 18 e 25 de maio — Finais dos campeonatos das séries.

15, 22 e 29 de junho — Torneio de propaganda inter-clubes.

13, 20 e 27 de julho — Torneio de propaganda inter-clubes.

10, 17, 24 e 31 de agosto — Eliminatórias para o campeonato do Estado.

14, 21 e 28 de setembro — Finais para o campeonato do Estado.

5, 12, 19 e 26 de outubro — Preparação para o campeonato do Brasil.

2, 9, 16, 23 e 30 de novembro — Preparação para o Campeonato Brasileiro.

11'50" 345. Ante-ontem, percor-

Com 14'37" Ibarra detém o recorde Sul-Americano dos 5.000 metros

Ante-ontem, na pista do "Gymnasia y Esgrima", em Buenos Aires, o atleta Raul Ibarra foi bem sucedido nas tentativas de quebra de recordes nas corridas de fundo.

A sua "perfomance", sem dúvida a mais surpreendente, foi a que assinalou nos 5.000 metros. Ibarra cobriu essa distância no notável tempo de 14'37", que supera em 16" o recorde que ele mesmo havia obtido no dia 12 de outubro de 1940, quando marcou 14'53".

Nessa ocasião, em outubro, havia também estabelecido nova marca nos 4.000 metros, com 11'50" 345. Ante-ontem, percor-

reu a citada distância em 11'39" 3/5.

O recorde obtido nas três milhas foi de 14'8". Também foi excepcional a "perfomance" no quarto de hora, percorrendo 5.132,23 metros, superando de mais de 100 metros o seu recorde anterior, do ano passado, com 5.099,78 metros.

O noticiário telegráfico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pelas agências: "Nacional" (A. M.) brasileira, "Domei" (D.) japonêsa, "United Press" (U. P.) norte-americana, "Stefani" (S.), italiana e "Transocean" (T.O.), alemã.

Restrição da Natalidade

De 1900 a 1920, a população teve um acréscimo de 13 milhões de habitantes. De 1920 a 1940 deveria o acréscimo ser, no mínimo, de 16 milhões, levando-se em conta as nossas condições de vida e o total da população há vinte anos atrás. Mas, no que se sabe, isso não aconteceu.

O presidente da Comissão Censitária Nacional, sr. Carneiro Felipe, falando o jornalista, atribuiu o fato principalmente à restrição à natalidade, que é cada vez maior, em nosso país. Em certos pontos do Brasil, como em São Paulo e no Rio Grande do Sul essa restrição é mesmo mais ampla que no Rio, o que constitui um sério fator de desintegração e desequilíbrio social.

O fomento da suinocultura nacional

RIO, 4 — A suinocultura no Brasil vem progredindo auspiciosamente nos últimos anos, mesmo depois da eclosão da guerra na Europa, sendo o Rio Grande do Sul o maior criador de suínos no país.

O Ministério da Agricultura se empenha no sentido de melhorar essa espécie animal, dispondo para tal fim de fazendas experimentais de criação. A de Canchim, situada em São Carlos, no Estado

de São Paulo, será, dentro de poucos anos, o maior centro de criação de reprodutores de varias raças, importadas e nacionais, incluindo a "Piau", que está sendo selecionada e cujo plantel oficial foi aumentado com novos exemplares. Essa Fazenda possui modernas instalações, podendo, assim, executar vasto programa, tecnicamente orientado, de experimentação e fomento.

Segundo comunicação feita ao Ministro Fernando Costa pelo professor Mário de Oliveira, diretor geral do Departamento Nacional da Produção Animal, o referido estabelecimento já produziu 742 reprodutores puros, assim distribuídos: 55, em 1935; 87, em 1936; 135, em 1937; 228, em 1938, e 237 em 1939. O núcleo inicial de criação de suínos dessa Fazenda se compunha de 19 cabeças.

QUASIUM MILHÃO DE CONTOS DE DEPOSITOS

A evolução dos negócios da Caixa Econômica do Rio

RIO, 3 — No Conselho Superior das Caixas Econômicas Federais, o sr. Luís Miranda relatou o processo referente ao balanço do 2.º semestre de 1940 da Caixa Econômica.

Apreciando o trabalho do relator, verifica-se que o balanço apresenta agradável evolução geral: fi-

nos, no correr do semestre, foram acrescidos pela soma de rs. 47.398.968\$200, perfazendo um total de quasi um milhão de contos, 593.810.656\$900) sendo o ativo realizável da Caixa rs. 1.095.636.317\$100, resultante de um acréscimo de 54.580.859\$000. As disponibilidades somavam, em 31 de dezembro de 1940, rs.

195.720.007\$000; as inversões em empréstimos 755.275.045\$000; os valores de mutação, 38.561.441\$500; os transitorios 48.823.206\$600.

Os valores patrimoniais tiveram um acréscimo de 15.022.146\$800 perfazendo um total de 57.256.617\$000. E o saldo do balanço foi de 5.879.308\$400.

Frutos de uma propaganda

Paina de seda, uma nova riqueza

No Alto de S. João, subúrbio do município mineiro de Montes Claros, o auxílio prestado por uma pobre garota de nove anos ao agente recenseador da sua zona documenta bem a eficiência da cooperação do professorado primário na campanha de lançamento do censo de 1940.

Em 1934, o Brasil produziu 58.559 toneladas, no valor de 14.493 contos de réis; em 1935, 64.082 toneladas e 14.957 contos; em 1936, 78.419 toneladas e 23.547 contos; em 1937, 98.101 toneladas e 33.452 contos; em 1938, 122.352 toneladas e 48.000 contos, e, em 1939, 160.016 toneladas e 59.434 contos de réis.

A produção no ano passado está assim discriminada:

Minas Gerais — 143.603 toneladas,

no valor de 53.637 contos;

Estado do Rio — 12.812 toneladas e 4.162 contos;

e São Paulo, 3.601 toneladas e 1.635 contos, sendo que, em 1938, no seu primeiro ano de produção, este Estado produziu 1.003 toneladas no valor de 497 contos de réis.

Existem funcionando, em nosso país, sete empresas produtoras de ferro gusa, no Estado de Minas Gerais; duas no Rio e duas no São Paulo. Estão em organização mais três; duas no Paraná e uma em Pernambuco.

Dentre os grandes produtores deste artigo destacam-se a Companhia Siderúrgica Belgo-mineira, com uma produção, em 1939, de 72.452 toneladas, e a Companhia Brasileira de Usinas Metálicas, com 27.405 toneladas.

Santa fez mais. Com a facilidade de entender-se com aquela gente da vizinhança, de condição social igual à sua, acompanhou o recenseador a todas as demais casas, explicando o que sabia e que era suficiente para conquistar a adesão de todos.

Não terão sido poucos os frutos, como esse, da propaganda censitária nas escolas, habil maneira de fazer chegar a então "palavra de ordem do Brasil" aos adultos analfabetos, através dos filhos, para isso instruídos nas escolas primárias.

A colaboração do professorado, como a do clero, na difusão dos reais objetivos do recenseamento, teve resultados positivos sem contudo.

As preleções nas escolas e as práticas nas igrejas preencheram as brechas que a propaganda escrita, ilustrada ou irradiada teria deixado nos meios em que o analfabetismo e o pauperismo dificultam a penetração dos veículos comuns de propaganda.

Santa fez mais. Com a facilidade

em cerca de 27 a 28 milhões de quilos, soma para a qual as Indias Holandesas que detêm praticamente o monopólio da produção, concorrem com perto de 22 milhões. Nos cinco anos últimos a produção da paina subiu de 18 milhões e meio para 28, mantendo-se como primeiros importadores os Estados Unidos.

As plantações existentes nas Indias Holandesas abrangem uma área de 24.000 hectares. O valor da produção, em moeda nacional, se eleva a cerca de 100 mil contos de réis.

Não há dados estatísticos sobre a produção de paina no Brasil. A nossa exportação em 1939 atingiu à 273 toneladas, no valor de 787 contos de réis, assim distribuída:

	Quilos	Mil réis
Alemanha	164.228	474.489
Argentina	35.690	99.117
União Belga Luxemburguesa	5.019	13.750
Estados Unidos	29.748	96.083
Holanda	7.502	22.107
Japão	1.500	3.274
Suécia	29.794	80.220
	273.481	787.040

A banha de porco no comércio exterior do Rio

O Brasil é grande consumidor de gordura animal. O povo brasileiro prefere, ainda hoje, essa gordura a qualquer outra para fins culinários.

A indústria nacional de banha cresceu extraordinariamente durante a guerra de 1914-1918. Em

1913, a nossa exportação, limitava-se a 25 toneladas. Em 1914, não foi registrada Exportação. Em 1915, remetemos a insignificância de 3 toneladas. O mesmo aconteceu em 1916. Mas já em 1917 embarcavamos 10.234 toneladas.

Exportações japonezas

As exportações efetuadas pelo Japão no primeiro semestre de 1940 se elevaram a 1.